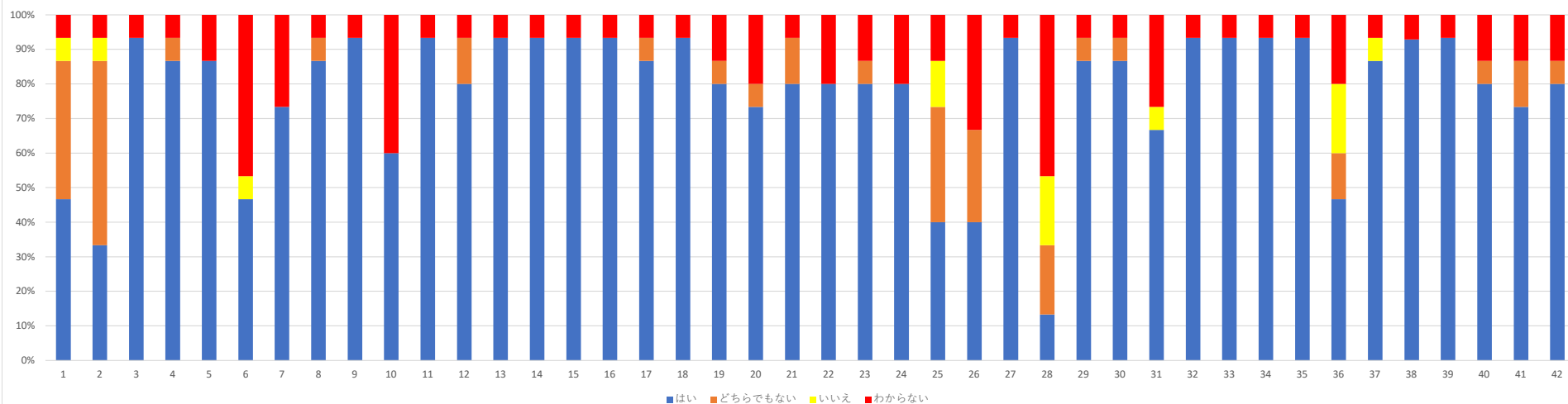


職員向けアンケート回答

	チェック項目	はい	どちら	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など	平均 *数	
							平均	*数
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係が適切であるか	47%	40%	7%	7%	2:昼食後目の離せない児童につくことで一時的に職員の数が必要と予想される場合は声をかけて職員を補充している。(工夫している点として) 14:児発・デイ利用者数に伴い過す部屋などを分散しているが、その分人員を割く必要があるため手薄になってしまう時間帯がある。(職員がお休みでない場合など) 15:教室の広さは問題ないが、玄関から教室への導線が遠いことなど使いづらさを感じる。 15:個別の利用が増えたので日によって大変な面がある。		
	2 職員の配置数は適切であるか	33%	53%	7%	7%		2.43	1
	3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	93%	0%	0%	7%		2.29	1
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標と振り返り)に、広く職員が参画しているか	87%	7%	0%	7%		3.00	1
	5 保護者向アンケートを実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	87%	0%	0%	13%		2.93	1
	6 この自己評価の結果について、ホームページで公開しているか	47%	0%	7%	47%		3.00	2
	7 第三者による外部評価*を行い、評価結果を業務改善につなげているか	73%	0%	0%	27%		2.75	7
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	87%	7%	0%	7%		3.00	4
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上でサービスの計画を作成しているか	93%	0%	0%	7%	15:毎日の夕方の引継ぎでの確認や支援会議で行っている。	2.93	1
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	60%	0%	0%	40%		3.00	1
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	93%	0%	0%	7%		3.00	6
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	13%	0%	7%		3.00	1
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	93%	0%	0%	7%		2.86	1
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるサービス計画を作成しているか	93%	0%	0%	7%		3.00	1
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	93%	0%	0%	7%		3.00	1
	16 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	93%	0%	0%	7%		3.00	1
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	87%	7%	0%	7%		3.00	1
	18 定期的にモニタリングを行い、サービスの計画の見直しの必要性を判断しているか	93%	0%	0%	7%		2.93	1
関係機関や保護者	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	80%	7%	0%	13%	3.00	1	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	73%	7%	0%	20%	2.92	2	
	21 各園・学校との情報共有(年間計画・行事予定などの交換、下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%	13%	0%	7%	2.92	3	
	22 就学前に利用していた各園や事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	80%	0%	0%	20%	2.86	1	
	23 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか(該当無し)	80%	7%	0%	13%	3.00	3	
	24 児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	80%	0%	0%	20%	2.92	2	

こ との 連 携	25	近隣の園や放課後等児童クラブや児童館等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	40%	33%	13%	13%		3.00	3
	26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	40%	27%	0%	33%		2.31	2
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	93%	0%	0%	7%		2.60	5
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	13%	20%	20%	47%		3.00	1
保 護 者 へ の 説 明 責 任	29	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	87%	7%	0%	7%		1.88	7
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	87%	7%	0%	7%		2.93	1
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりする等により、保護者同士の連携を支援しているか	67%	0%	7%	27%		2.93	1
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	93%	0%	0%	7%		2.82	4
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	93%	0%	0%	7%		3.00	1
	34	個人情報に十分注意しているか	93%	0%	0%	7%		3.00	1
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	93%	0%	0%	7%		3.00	1
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	47%	13%	20%	20%		3.00	1
非 常 時 の 対 応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	87%	0%	7%	7%	39・42: 回覧で事例を確認しました。日常の支援活動に気を付けるようにしています。	2.33	3
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	87%	0%	0%	7%		2.86	1
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	93%	0%	0%	7%		3.00	1
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、	80%	7%	0%	13%		3.00	1
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	73%	13%	0%	13%		2.92	2
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	7%	0%	13%		2.85	2
							2.92	2	

職員アンケート結果



気になった・課題となっている項目

28:ペアレントトレーニング

ペアレントトレーニングは、保護者が子どもの行動に対し適切に対応するためのスキルや知識を習得することで、発達障害のある子どもの行動変容を促すプログラムです。今後、保護者のニーズを踏まえつつ取り組みを進めていきます。

6:アンケート結果について

このアンケート結果はねむのきの法人のHPで公開しています。 <https://nemunokikai.hjk.ne.jp/facilities/index12.html> ←法人の当センターのHPを参照してください。

10:アセスメントツールの活用

簡潔に述べると、個別支援計画が作成され、児童がそれぞれの目標に沿って日々の活動を行い、それを実施記録や連絡帳などに記載できているので、アセスメントツールは機能していると言えます。

2:職員定数について。

法的には充足されています。しかし、タイトな時間(主に児発の給食時と、児発送り時とデイお迎え時)が生じてしまうことがあります。様々なことを鑑みながら、職員の分担をローテーションしていくことで解消を図っていければと思います。(「どちらともいえない」を加えると86%になっているのでベストではないがベターではあるかと思われる。)

25:他の児童との交流について

特に「行事」として設定してはませんが、「機会」を設定しています。「地域」の活動の中で公園や児童館等に行っていることがここに当てはまります。地域の公園や児童館で他児童とトラブルなく遊べたという事でも目的には到達できていると思われまます。

1:定員とスペース

こちらも2と同様に法的にはまだ定員を増やせるくらいに、施設の面積・設備とも要件を満たされています。とはいえ、使い勝手の面ではご不便をにかけているところまります。あるものを上手く活用したり、棚を買い足したりしています。皆さんのアイデアに助けをいただきながら、今後も有効活用を図っていきます。

36:地域に開かれた事業運営

このセンター独自の地域公開というものは、設定されていません。法人全体としての「ねむのきまつり」がこれに位置しています。「地域に開かれた」と「安全・防犯」の関係は、「いつでもオープン」「誰でもどうぞ」と「不審者対策」のように相反するものでもあります。「子どもたちにとって、どう効果的であるのか」という視点で「地域に開かれた」を考えるとここまで「オープン」にするのかを今後も職員全体で共有し、運営していくことが大切かと思われまます。

高評価となった項目から

職員一人一人が、センターの機能を捉えPDCAサイクルを機能させてチームで児童へきめ細かい支援を行うことができていると考えられます。また保護者アンケートの回答からもそれらについて高評価を得ていることで、保護者・利用児童の思いと当センターの支援が、効果的に機能していると考えられます。

イレギュラーの事態や、災害時など、日常的にめったに発生しないことへの対応への不安感が若干あるかもしれませんが、BCPや各種マニュアル・ヒヤリハットを活用しながら、チームで対処・対応できるようにしていければと思います。